

学校名	安来市立広瀬中学校		
学年	主な教科等	主に関わる単元名	活用した教育資源 (ひと・もの・こと)
1	総合的な学習 の時間	地域の職業について調べよう	青砥酒造・長谷川製パン・かみさこ農園 ・JA自動車工場およびそこに従事されている方々
ねらい		ふるさとの事業所やそこで働く人々について、調べてまとめたことを自分の考えと合わせて発信することを通して、ふるさとへの愛着や誇りを醸成するとともに、地域に貢献しようとする意欲を喚起する。	
<p>1 取組の概要</p> <p>(1) 事前の取組 造り酒屋・製パン工場・自動車整備工場・農園について、4班に分かれて事前に文献やインターネット等を用いて調査するとともに、訪問調査時に質問する内容について準備した。</p> <p>(2) 職場訪問 班ごとに1時間半程度事業所を見学し、事業所の方にインタビュー調査を行った。</p> <p>(3) 事後の取組 調査結果をまとめ、自分の考えと合わせてプレゼン資料と発表原稿を作成し、学年全体場でプレゼンテーションを行った。</p> <p>2 ふるさとの「ひと・もの・こと」をどのような力を付けるために、どのような意図をもって活用したか。</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) 以前から事業所名は知っているが詳しい情報や従事されている方の想いについては知らないことが多い。今回の学習で生徒が初めて知ることができる事業所を選定することで、学習への意欲づけを図るとともに、ふるさとへの愛着心の醸成を図った。 また、広瀬町内3地区への訪問を通して自分の小学校区以外の地域にふれ、その良さを体感することで、広瀬町への愛着や誇りを高めることを図った。</p> <p>(学力育成の視点から) 「課題設定→情報収集→整理・分析→まとめ・表現」という学習過程の中で、生徒の探究心が深まるよう、実際に訪問して従事者と対話することが可能な事業所を選定した。 各事業所についての調査結果・考察・感想を他の班と共有し、多様な情報を活用したり異なる視点から考えたりして協同的に学ぶことができるよう、事業内容・地域の異なる事業所を選定した。 多様な他者と適切に関わる力を育成するため、さまざまな年代の方に職場訪問学習への協力を依頼した。</p> <p>3 児童・生徒に見られた変容(どのような力が身に付いたか等)</p> <p>(ふるさとへの愛着や誇り、貢献意欲の視点から) 活動を通して、広瀬町についての興味関心が深まり、ふるさとの産業への誇りやふるさとで働くことへの興味・関心を高めることができた。 また、ふるさとをより発展させるために自分たちにできることについて考えることができた。</p> <p>(学力育成の視点から) 職場訪問前に、自ら明らかにしたいことを設定して調査活動に臨み、収集した情報を班員の協働によって整理・分析し、プレゼンテーションの形でまとめ・表現を行うことができた。また、他の班に対してプレゼンテーションを行うことにより、別の視点でふるさとの産業やそこで働く人々の想いについて捉えることができた。訪問の依頼から礼状送付まで、地域の方といろいろな形で適切に関わることもできた。</p> <p>4 課題や今後の展望</p> <p>コロナ禍の中、生徒の訪問を許諾いただいた地域の方の協力的な姿勢をありがたく感じた。安心・安全な訪問の方法について今後も事業所と連携し検討していきたい。生徒の現在またはこれまでのふるさと貢献についての自覚を促すとともに、発達段階に即した地域貢献が充実するよう、3年間を通した体系的な全体計画・年間指導計画・単元計画をあらためて作成する必要がある。</p>			



